



# 私たちの‘エンディング’を考える

認知症になっても、シングルであっても住み慣れた場所で、いつまでも自分らしく！

2025年には、‘団塊の世代’が75歳以上の後期高齢者になる「超高齢社会」がやってきます。住み慣れたまち宝塚で、終末期を安心して暮らし続けるために、私たちができることは何か？私たちの‘エンディング’を一緒に考えてみませんか。



①	<b>11月 15日 (木)</b> 10:00~12:00	オリエンテーション 私たちの‘エンディング’を考えるとは？ ～ 4年目を迎えて～	上村くにこさん 田上 時子さん
②	<b>11月 24日 (土)</b> 10:00~12:00	一日一日を丁寧に『暮らす』 ～ 看取りの文化を地域に～	市原 美穂さん
③	<b>11月 29日 (木)</b> 10:00~12:00	住み慣れた宝塚市で過ごすということ ～ 認知症になっても、終末期でも～	木内 嘉子さん 西野 マリさん
④	<b>12月 6日 (木)</b> 14:00~16:00	最期まで自宅ですごすために ～ 薬剤師の新しい試み～	小塚ひとみさん
⑤	<b>12月 13日 (木)</b> 10:00~12:00	‘死’の意味とは「死生学」を通して ～ まとめ 私たちの‘エンディング’を考える～	上村くにこさん

- ◆ 日時 : 11/15 ~ 12/13 の木曜日、※②は11/24 (土) [5回講座]
- ◇ 対象 : テーマに関心のある方 40人 < 先着順 >
- ◆ 保育 : 10人 (1歳~就学前まで) 無料 要予約
- ◇ 申込み : 電話 または 窓口、センターHP で受付  
宝塚市立男女共同参画センターへ

参加費  
無料

主催 宝塚市立男女共同参画センター・エル

宝塚市指定管理者

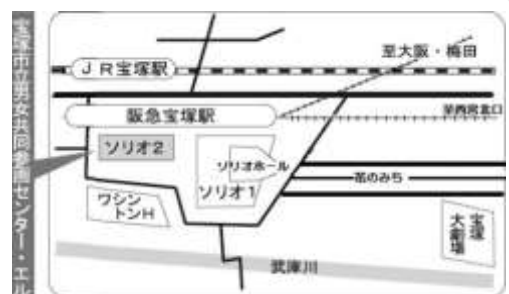
NPO 法人 女性と子どものエンパワメント関西

宝塚市栄町2-1-2「ソリオ2」4階

電話：0797-86-4006 FAX：0797-83-2424

<http://www.takarazuka-ell.jp/>

(駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください)



## 私たちの ‘エンディング’ を考える [講師紹介]



**上村 くにこ さん** (NPO 法人想像文化研究組織 理事長、甲南大学名誉教授)

専門はフランス文学、神話、ジェンダー論。著書に「恋愛達人の世界史」「失恋という幸福」「白鳥のシンボリズム」ほか。これから自分ができる唯一のことは、「自分が老いてゆくこと、死んでゆくことを深く観察すること」と、定年退職を機に「死生学」を志す。2013年に、これまでにない新しい高齢者文化を創りだそうとNPO 法人想像文化研究組織 を立ち上げ、活動を続けている。



**田上 時子 さん** (NPO 法人女性と子どものエンパワメント関西 理事長)

早稲田大学卒業後、カナダ留学。1988年9月帰国。女性と子どものエンパワメントに努めている。2011年文部科学大臣より「社会教育功労賞」受賞。JICA 人身取引被害者支援・自立支援促進プロジェクト短期専門家。2015年～「人身取引に関する日・タイ合同ワークショップ」を企画運営。両親の介護・看取りを通して、人生のエンディングのあり方を考えている。



**市原 美穂 さん** (認定 NPO 法人ホームホスピス宮崎 理事長)

宮崎県生まれ。海外のホスピスの視察を経て 1998 年から「ホームホスピス宮崎」設立に参画。2002 年から現職。2004 年「ホームホスピスカあさんの家」を開設。その他にも、訪問介護、訪問看護、居宅支援事業、暮らしの保健室などの事業を運営。2015 年から全国ホームホスピス協会理事長。2016 年NHK地域発ドラマ「宮崎のふたり」監修。著書に、『ホームホスピス「かあさんの家」のつくり方 ～一人暮らしから、とも暮らしへ～』、『ホームホスピス「かあさんの家」のつくり方 2 ～暮らしの中で逝く～』がある。



**木内 嘉子 さん** (NPO 法人めふのお家 管理者・副施設長)

めふのお家は ‘ほっこりして、家にいるのと同じくつろげる場所’ として、1999 年 5 月にスタート (宝塚市内の NPO 法人化第 1 号)。2009 年より、めふのお家 (認知症対応型通所介護) の管理者・副施設長を務める。認知症ケア専門士。



**西野 マリ さん** (NPO 法人ホームホスピス宝塚つ・む・ぐの家 理事長)

2015 年 6 月、古民家カフェ ‘ミュゲ’ を借りて、認知症カフェ『オレンジカフェ逆瀬川』を立ち上げる。2018 年 11 月、宝塚市内初のホームホスピス『宝塚つ・む・ぐの家』をオープン (予定)。病や障害を持っていても、住み慣れた地域で最期まで自分らしく生きたいと願う人とその家族に対してホームホスピスに関連する事業、お互いが寄り添い、支え合って暮らすための援助を行う。



**小塚 ひとみ さん** (そらまめ薬局 薬剤師)

夫、実家の父を相次いで亡くしたことにより、人生の最期に寄り添えるような薬剤師でありたいと願うようになり、2014 年 在宅医療を支援する目的で、そらまめ薬局 開局。雨の日も風の日も「♪私を～待ってる～人がいる♪」と歌いながら訪問に向かっている。摂南大学薬学部卒。兵庫県薬剤師会、神戸市薬剤師会、東灘区薬剤師会理事。趣味 気功、人と環境に優しい商品探し。

